



2013年 8月23日
日本生理学会
東北大学生命科学研究科
東北大学大学院医学系研究科

日本生理学会東北地方会賞(奨励賞・有志賞)の創設

東日本大震災義援金を原資に高校生などを対象

日本生理学会では東日本大震災義援金を原資として東北日本生理科学奨励賞と東北日本生理科学有志賞を創設しました。2013年度は、10月5日(土)に東北大学で開催される第45回東北生理談話会(当番幹事:八尾 寛、東北大学 教授)において受賞者の選考を実施いたします。東北日本生理科学有志賞は、大学、高校、高等専門学校の学生、生徒、教員の研究を対象にしている特色があります。

【内容】

2011年3月11日に発生した東日本大震災に際し、日本生理学会には、全国の会員から総額約240万円の義援金が寄せられました。日本生理学会義援金配分委員会(佐々木和彦 委員長)で用途を検討し、震災により破損した学生実習機器の修理・更新費用の支援などに充ててきました。このたび、応急的な支援が一通り完了したことを踏まえ、本義援金を原資として、以下の東北地方会賞を創設しました。これは、大学院生、ポスドクなどの若手研究者の地方会における積極的な活動を促進するとともに、学部学生、高校生、高等専門学校生などの研究マインドをはぐくむことを目的としています。これにより東北日本における生理科学研究の活性化が図られ、2011年の震災からの復興を促進することが期待されます。詳細は以下のウェブサイトに掲載されています。

<http://physiology.jp/exec/recruitment/detail/454/>

(1) 東北日本生理科学奨励賞

東北日本において、独創的、萌芽的な基礎研究または応用研究を行っている若手研究者(4月1日付で35歳未満)を奨励する。応募条件は、生理学会会員(登録中を含む)であり、かつ、東北に赴任して3年以上であること、あるいは、東北を拠点とした研究活動を3年以上継続して行っていること。

各年度3名以内(うち1名以上は女性とする)

賞金:3万円

エントリー:2013年9月13日(金)まで

(2) 東北日本生理科学有志賞

東北日本の大学、高等学校、高等専門学校などに所属し、独創的、萌芽的な基礎研究または応用研究を行っている学生または教員を奨励する。

各年度3名以内

賞金:1万円

エントリー:2013年9月13日(金)まで

(3) 学部学生などの学会費の支援

上記に併せ、東北日本の大学、高等学校、高等専門学校などに所属し、日本生理学会大会、東北生理談話会などにおいて演題発表する場合に限り、当該年度の日本生理学会年会費を半額補助する。

【用語説明】

生理学:生命現象を機能の側面から研究し解明する学問領域のこと

生理科学:生理学の成果や手法は、臨床、医療関連分野、エンジニアリング、企業などで行われている病態、スポーツ、環境、製品などの評価に用いられています。これらを旧来の生理学と総称して生理科学とよばれています。

【お問い合わせ先】

日本生理学会 理事

第45回東北生理談話会 当番幹事

東北大学 教授

八尾 寛 (やお ひろむ)

(生命科学研究科脳機能解析分野)

東北大学大学院医学系研究科

創生応用医学研究センター)

電話番号:022-217-6208

Eメール:yawo-hiromu@m.tohoku.ac.jp

【報道担当】

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室

稲田 仁 (いなだ ひとし)

電話番号:022-717-7891

ファックス:022-717-8187

Eメール:hinada@med.tohoku.ac.jp